



Mimaki® V10
株式会社 ミマキエンジニアリング

2025年3月期

決算説明資料

2025年5月13日



証券コード
6638

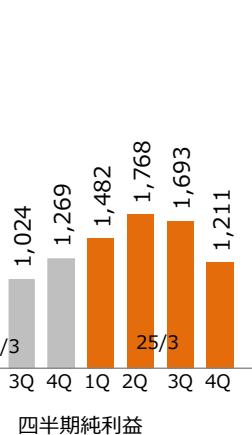
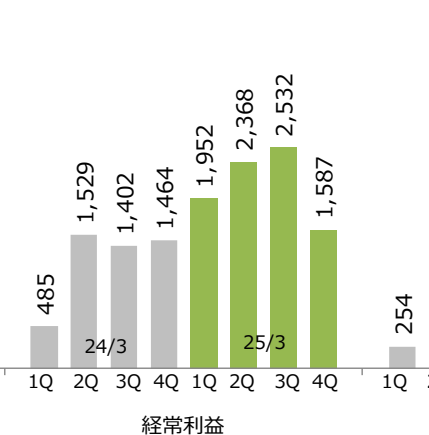
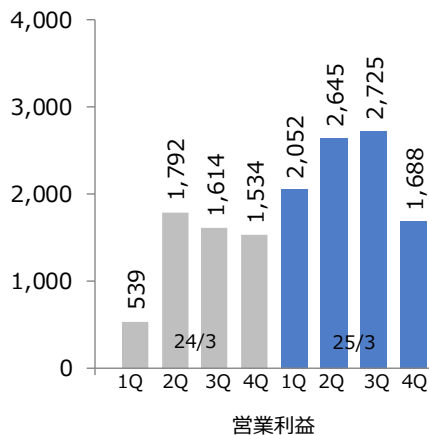
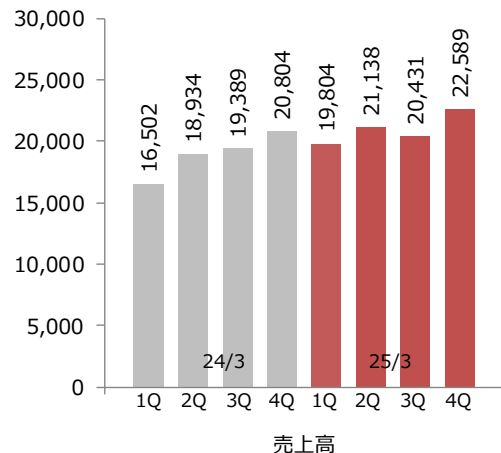
2025年3月期 連結業績

- ❖ 第4四半期・通期実績
- ❖ 2026年3月期 通期予想

連結業績ハイライト (2025年3月期 4Q)



(単位：百万円)		2024年3月期		2025年3月期				
		4Q実績	売上高 比率	4Q実績	売上高 比率	前年同期比増減		
						金額	率	率(除為替)
■ 売上高		20,804	—	22,589	—	+1,784	+8.6%	+8.5%
■ 営業利益		1,534	7.4%	1,688	7.5%	+153	+10.0%	—
■ 経常利益		1,464	7.0%	1,587	7.0%	+123	+8.4%	—
■ 親会社株主に帰属する 四半期純利益		1,269	6.1%	1,211	5.4%	-58	-4.6%	—
為替レート	米ドル	148.60円	—	152.61円	—	+4.01円	+2.7%	—
(期中平均)	ユーロ	161.30円	—	160.50円	—	-0.80円	-0.5%	—



連結業績のポイント (2025年3月期 4Q)



■ 4Q売上高

- ・ 前年同期比 1,784百万円の増収(+8.6%、内為替影響 +12百万円)、概ね計画どおり
- ・ 大型展示会への出展、ミニ展戦略、個別商談の獲得に合わせた積極的な販促活動など、営業力強化に注力
- ・ SG・IPが大幅増収となった一方、TAは北米・欧州ともに本体の販売は大幅減収となったものの、ストック性の高いインクの販売はTA市場の稼働台数が増加したことから着実に伸長、FAは安定的な受注に伴い大幅増収
- ・ 国内・アジアは大幅増収、北米はTAの販売減少により減収、欧州は新製品効果もあり増収と回復基調
- ・ FAは、FA装置や基板実装装置の自動車関連の売上が4Qに集中したことに加えて、第3四半期からの期ズレもあり大幅な増収

■ 4Q営業利益

- ・ 前年同期比 153百万円の増益(+10.0%、内為替影響 -14百万円)、計画比上振れ
- ・ 売上原価率は、高コスト部材を使用した製品の販売が終結と高付加価値の新製品が寄与し抑制。販管費は、業績連動や決算賞与による人件費の増加と積極的な研究開発費を計上。加えて原材料の廃棄や決算賞与のほか、本社敷地内の1棟の取り壊しなど、原価並びに販管費において、一時的な費用として約7.2億円が発生するも大幅増益

■ 4Q末バランスシート

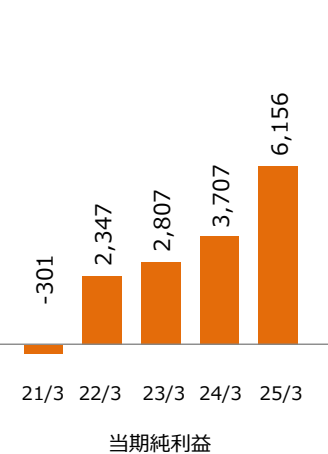
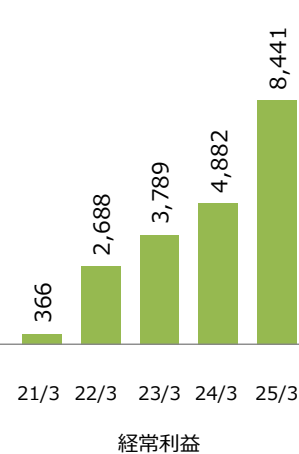
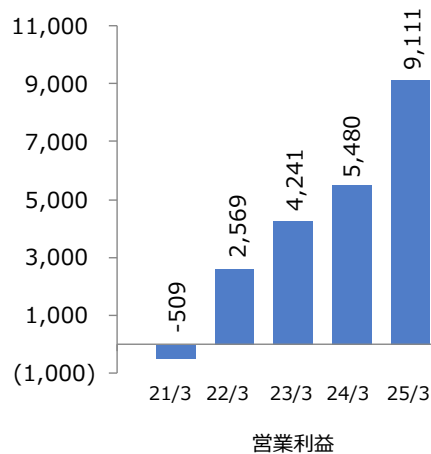
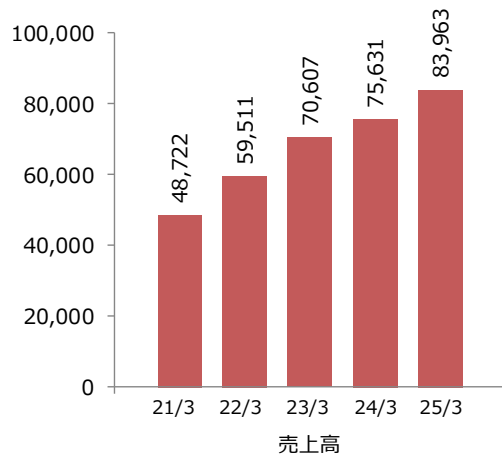
- ・ 重点指標のCCC*は、販売拡大、売掛債権回収早期化、在庫削減活動等を進め、着実に改善

2024/3/末:4.51月→6/末:4.61月→9/末:4.29月→12/末:4.44月→2025/3/末:4.28月

連結業績ハイライト (2025年3月期 通期)



(単位：百万円)		2024年3月期		2025年3月期						
		通期実績	売上高 比率	通期実績	売上高 比率	前期比増減			前回予想	前回予想比 増減額
						金額	率	率(除為替)		
■ 売上高		75,631	—	83,963	—	+8,332	+11.0%	+8.3%	84,000	-36
■ 営業利益		5,480	7.2%	9,111	10.9%	+3,631	+66.2%	—	8,600	+511
■ 経常利益		4,882	6.5%	8,441	10.1%	+3,559	+72.9%	—	7,900	+541
■ 親会社株主に帰属する 当期純利益		3,707	4.9%	6,156	7.3%	+2,448	+66.0%	—	5,650	+506
為替レート (期中平均)	米ドル	144.62円	—	152.57円	—	+7.95円	+5.5%	—	151.17円	+1.40円
	ユーロ	156.79円	—	163.74円	—	+6.95円	+4.4%	—	162.61円	+1.13円



営業利益増減要因 (24/3期 vs 25/3期)

【通貨別影響額】

USD／	144.62円	→	152.57円	+628
EUR／	156.79円	→	163.74円	+604
CNY／	20.14円	→	21.10円	-102
TRY／	5.51円	→	4.48円	-166
BRL／	29.30円	→	27.26円	-135
その他 (AUD、THB等)				+187

合計 +1,016

【売上・原価・営業利益への為替影響】

売上高 2,069 – 売上原価 598 – 販管費 454 = 営業利益 +1,016

【売上原価率増減要因】

高コスト部材を使用した製品の販売がほぼ終結、加えてインクの品質向上や、原価率の低い製品の販売が好調なことから製品ミックスが改善され、売上原価率は大幅に改善

【販管費増減の要因】

人件費	+1,060
研究開発費	+718
製品補修費	-510
支払手数料	+344
運搬費	+219
その他	+574

合計 +2,405

(単位：百万円)

①為替影響

②売上高増減影響

③売上原価率増減影響

④販管費増減影響

1,016

2,702

2,317

売上原価率

56.9%

↓

54.0%

(-2.9pt)

-2,405

販管费率

35.9%

↓

36.1%

(+0.2pt)

9,111

営業利益
(24/3期)

営業利益
(25/3期)

営業利益 +36億31百万円

市場別売上高 (2025年3月期 4Q)



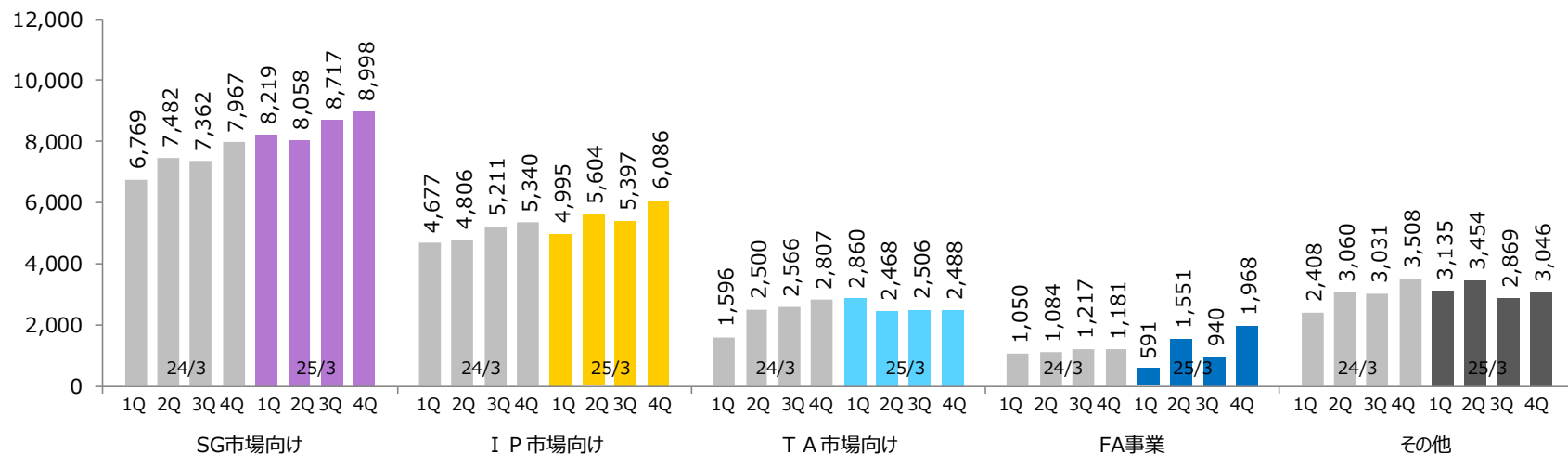
(単位：百万円)	2024年3月期		2025年3月期				
	4Q実績	構成比率	4Q実績	前年同期比増減			構成比率
				金額	率	率(除為替)	
■ S G 市場 向け	7,967	38.3%	8,998	+1,031	+12.9%	+13.1%	39.8%
■ I P 市場 向け	5,340	25.7%	6,086	+746	+14.0%	+13.6%	26.9%
■ T A 市場 向け	2,807	13.5%	2,488	-318	-11.3%	-11.3%	11.0%
■ F A 事業	1,181	5.7%	1,968	+787	+66.7%	+66.5%	8.7%
■ そ の 他	3,508	16.9%	3,046	-461	-13.2%	—	13.5%
合 計	20,804	100.0%	22,589	+1,784	+8.6%	+8.5%	100.0%

- SG市場向け： 本体は新製品のエントリーモデルの立ち上がりが順調、UVインク搭載モデルのフラッグシップモデルが好調、インク販売も堅調なことから大幅増収
- IP市場向け： 小型FBモデル及びラインナップを追加した新製品のJFX200-1213EXが好調に推移。インクの販売は前年並みであったものの大幅増収
- TA市場向け： 新製品のダイレクト昇華と昇華転写に対応のハイブリッドプリンタ及び既存製品である昇華転写機が好調であったものの、DTF機の初期需要の落ち着きを受け、前期比較では減少したことから本体は大幅減収、一方で着実に市場の稼働台数が増加した背景により、インクの販売は大幅に伸長、TA全体では大幅な減収
- FA事業： FA装置や基板実装装置の自動車関連の売上が4Qに集中、また第3四半期からの期ズレもあり大幅な増収

市場別売上高 (2025年3月期 通期)



(単位：百万円)	2024年3月期		2025年3月期						
	通期実績	構成比率	通期実績	前期比増減			構成比率	前回予想	前回予想比増減額
				金額	率	率(除為替)			
■ S G 市場 向け	29,581	39.1%	33,994	+4,413	+14.9%	+11.9%	40.5%	33,649	+344
■ I P 市場 向け	20,036	26.5%	22,084	+2,048	+10.2%	+7.0%	26.3%	22,600	-516
■ T A 市場 向け	9,471	12.5%	10,324	+853	+9.0%	+6.0%	12.3%	10,892	-567
■ F A 事業	4,533	6.0%	5,053	+519	+11.5%	+11.4%	6.0%	5,047	+6
■ そ の 他	12,009	15.9%	12,506	+497	+4.1%	-	14.9%	11,810	+696
合 計	75,631	100.0%	83,963	+8,332	+11.0%	+8.3%	100.0%	84,000	-36



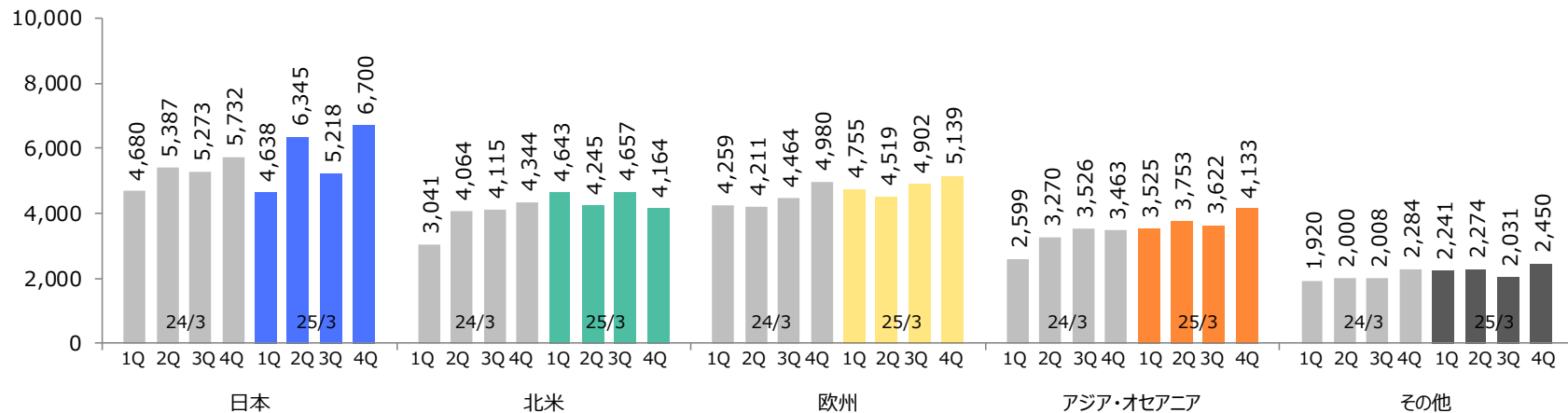
エリア別売上高 (2025年3月期 4Q)

(単位：百万円)	2024年3月期		2025年3月期			
	4Q実績	構成比率	4Q実績	前年同期比増減		構成比率
				金額	率	
■ 日本	5,732	27.6%	6,700	+968	+16.9%	29.7%
■ 北米	4,344	20.9%	4,164	-179	-4.1%	18.4%
(現地通貨 / \$)	29.2M	-	27.5M	-1.7M	-5.9%	-
■ 欧州	4,980	23.9%	5,139	+159	+3.2%	22.8%
(現地通貨 / €)	30.8M	-	32.0M	+1.1M	+3.8%	-
■ アジア・オセアニア	3,463	16.6%	4,133	+670	+19.4%	18.3%
■ その他	2,284	11.0%	2,450	+166	+7.3%	10.8%
合計	20,804	100.0%	22,589	+1,784	+8.6%	100.0%

- 日本 : IP本体はUV搭載小型FBが大幅増加、インクも好調に推移、SG本体はフラグシップモデルが伸長、インクは前年並、TAも本体は伸び悩むもインクは大幅増、FAはFA装置、基板実装装置の販売に加え3Qの期ずれもあり大幅増。全体でも大幅増収
- 北米 : 北米販売拠点と付随する倉庫移転の影響も受け各市場で大幅減収。SGは新製品は好調、IP本体・インクはともに前年並み、TAはインクの販売は大幅に増加するも本体は大幅減収、為替はプラスに影響
- 欧州 : 本体販売はSG・IPともに大幅に増加し回復基調の一方、TAが大幅減少、インク販売はSG・IPは前年並みとなるもTAは大幅に伸長
- A・O : 中国が前年同期から大幅な回復、インド、タイ、フィリピン等も好調な販売

エリア別売上高 (2025年3月期 通期)

(単位：百万円)		2024年3月期		2025年3月期					
		通期実績	構成比率	通期実績	前期比増減		構成比率	前回予想	前回予想比増減額
					金額	率			
■ 日 本	本	21,074	27.9%	22,903	+1,829	+8.7%	27.3%	22,935	-31
■ 北 米	米	15,566	20.6%	17,709	+2,143	+13.8%	21.1%	17,160	+549
	(現地通貨 / \$)	107.6M	-	116.3M	+8.6M	+8.1%	-	113.4M	+2.9M
■ 欧 州	州	17,916	23.7%	19,317	+1,400	+7.8%	23.0%	19,677	-359
	(現地通貨 / €)	114.2M	-	118.0M	+3.8M	+3.4%	-	121.2M	-3.2M
■ アジア・オセアニア		12,860	17.0%	15,035	+2,175	+16.9%	17.9%	14,620	+414
■ そ の 他		8,214	10.9%	8,997	+783	+9.5%	10.7%	9,606	-608
合 計		75,631	100.0%	83,963	+8,332	+11.0%	100.0%	84,000	-36



要約貸借対照表 (2025年3月31日現在)

(単位：百万円)		2024年 3月31日	2025年 3月31日	増減額	増減率
資産の部	現金及び預金	17,365	15,448	-1,916	-11.0%
	受取手形及び売掛金（※1）	14,105	14,838	+732	+5.2%
	たな卸資産	24,961	24,863	-98	-0.4%
	その他流動資産	2,334	2,453	+119	+5.1%
	流動資産合計	58,766	57,603	-1,163	-2.0%
	有形固定資産	12,535	13,650	+1,115	+8.9%
	無形固定資産	1,040	847	-192	-18.5%
	投資その他の資産	3,376	4,072	+696	+20.6%
固定資産合計		16,951	18,570	+1,618	+9.5%
合 計		75,718	76,174	+455	+0.6%
負債・純資産の部	支払手形及び買掛金（※1）	8,862	8,847	-15	-0.2%
	短期借入金（※2）	21,705	16,557	-5,147	-23.7%
	その他流動負債	10,945	11,886	+940	+8.6%
	流動負債合計	41,513	37,291	-4,221	-10.2%
純資産の部	長期借入金	4,887	3,972	-915	-18.7%
	その他固定負債	1,927	2,536	+609	+31.6%
	固定負債合計	6,814	6,508	-305	-4.5%
	負債合計	48,327	43,800	-4,527	-9.4%
純資産合計		27,390	32,373	+4,983	+18.2%
合 計		75,718	76,174	+455	+0.6%

❖ 資産の部 +455

- ・ 流動資産 (-1,163)
→現金及び預金の減少等
- ・ 有形固定資産 (+1,115)
→使用権資産の増加等
- ・ 投資その他の資産 (+696)
→繰延税金資産の増加等

❖ 負債の部 -4,527

- ・ 流動負債 (-4,221)
→短期借入金の減少等
- ・ 固定負債 (-305)
→長期借入金の減少等

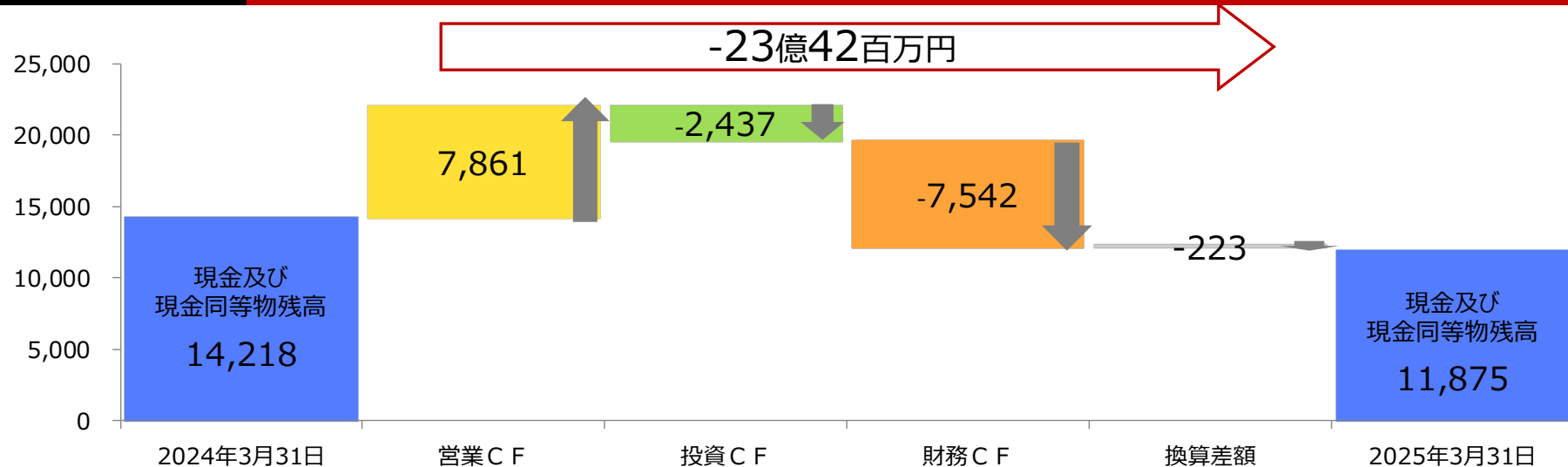
❖ 純資産の部 +4,983

→利益剰余金の増加等

(※1) 電子記録債権、電子記録債務を含む

(※2) 1年内返済予定長期借入金を含む

キャッシュ・フロー (2025年3月期 通期)



営業キャッシュ・フローの状況

EBITDA (※)	11,664
運転資金増加	-1,351
税金、利払等	-2,452
合 計	7,861

投資キャッシュ・フローの状況

定期預金の収支	-453
固定資産の取得	-2,290
その他	306
合 計	-2,437

財務キャッシュ・フローの状況

短・長期借入金収支	-6,060
配当金支払	-937
その他	-544
合 計	-7,542

(※) 利払前、税払前、償却前の営業利益

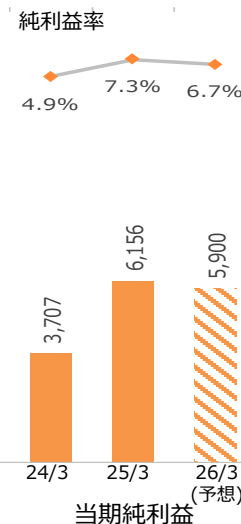
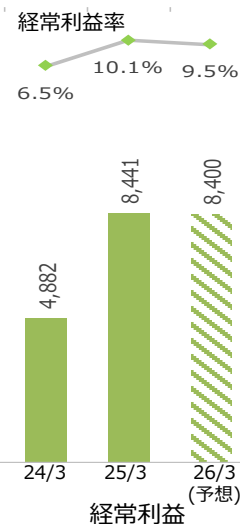
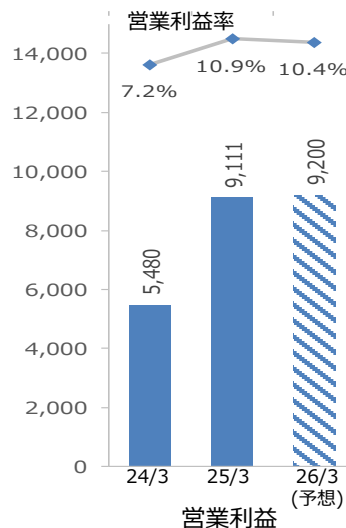
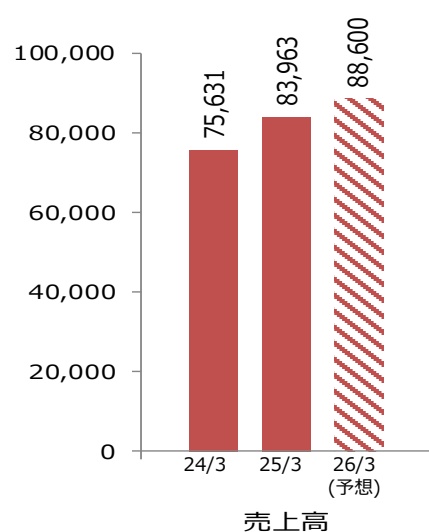
2025年3月期 連結業績

- ❖ 第4四半期・通期実績
- ❖ 2026年3月期 通期予想

連結業績予想ハイライト (2026年3月期)



(単位：百万円)		2025年3月期		2026年3月期									
		通期実績	売上高 比率	上期予想	売上高 比率	下期予想	売上高 比率	通期予想	売上高 比率	前期比増減			
										金額	率	率(除為替)	
■ 売	上	高	83,963	－	41,400	－	47,200	－	88,600	－	+4,636	+5.5%	+12.4%
■ 営	業	利 益	9,111	10.9%	4,050	9.8%	5,150	10.9%	9,200	10.4%	+88	+1.0%	－
■ 経	常	利 益	8,441	10.1%	3,600	8.7%	4,800	10.2%	8,400	9.5%	-41	-0.5%	－
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益			6,156	7.3%	2,600	6.3%	3,300	7.0%	5,900	6.7%	-256	-4.2%	－
為替レート	米ドル		152.57円	－	135.00円	－	135.00円	－	135.00円	－	-17.57円	-11.5%	－
(期中平均)	ユーロ		163.74円	－	152.00円	－	152.00円	－	152.00円	－	-11.74円	-7.2%	－



連結業績予想のポイント (2026年3月期)



■ 連結業績予想の前提* 米国の追加関税の影響と対応策の詳細はP15もご覧ください

- ① 売上高は、世界経済の先行き不透明感の継続や米国の関税措置など地政学リスクの高まりもあるものの、営業活動の強化と継続的な高付加価値の新製品を市場投入し販売拡大を見据え、SG、IP、TAの各市場向け及びFA事業で、増収の見通し
- ② 地域別では、国内及びアジア・オセアニアに加え、欧州での回復基調にある機を捉え販売を強化により増収を見込む一方で、北米は為替並びに経済動向が不透明であることから減収の計画
- ③ 営業利益は、売上原価率はインクの品質改善とコストダウンによる原価抑制などの改善努力を継続。販売管理費は、業容拡大に伴う費用の増加により売上高比率は増加を見込むも増益の見通し
- ④ 為替影響を織り込み、現時点で想定可能な直接的なマイナス影響は織り込むも、実施予定の価格転嫁等による業績へのプラス影響は含まない保守的な予想
- ⑤ 為替レート的前提はUSD:135円/EUR:152円で設定

■ 2025年度グループ経営方針は「**挑戦する**」と定め、新たな価値創造のためのイノベーションと新しい仕組みやプロセスの醸成に挑戦する1年と位置付け、全社一丸となり積極的に取り組んでまいります。

■ 新中長期成長戦略は、2025年5月16日に公表予定

連結業績予想 補足 米国関税に関する影響（2026年3月期）



前提：年度内において10%の米国の追加関税が継続されることを前提とした現時点において想定される影響と対応策

直接的な影響は、対応策を講じることで限定的
業績予想は、為替影響を織り込み、現時点で想定可能な直接的なマイナス影響は織り込むも、実施予定の
価格転嫁等による業績へのプラス影響は含まない保守的な予想

対応策

- ・ コストアップ面は、適正な売価設定で価格転嫁を実施
- ・ 国内と中国の2拠点生産を継続し、影響の最小化を図る
- ・ 調達の見直しやパートナーシップ戦略の実施

ビジネスチャンス

多くの産業用プリンタ業界の生産は、アジア中心であり、米国国外において製造
日本国内に生産体制がある当社は需要拡大のビジネスチャンス
北米の販売強化に一層注力

引き続き当該関税措置等の動向を注視しつつ臨機応変に対応する事で影響の最小化を図ってまいります

営業利益増減要因 (25/3期 実績 vs 26/3期 予想)

【通貨別影響額】

USD / 152.57円 → 135.00円	-1,775
EUR / 163.74円 → 152.00円	-1,187
CNY / 21.10円 → 21.00円	+10
BRL / 27.26円 → 24.50円	-205
INR / 1.81円 → 1.66円	-117
その他 (TRY、THB等)	-347
合計	-3,622

<為替感応度 (1円/年)>

	売上高	営業利益
USD	176	101
EUR	143	101

【売上原価率増減の要因】

インクの品質改善とコストダウン等
による改善に取り組むことで原価
改善を見込む

【売上・原価・営業利益への為替影響】

売上高 -5,778 - 売上原価 -922 - 販管費 -1,233 = 営業利益 -3,622

(単位：百万円)

①為替影響

②売上高増減影響

③売上原価率
増減影響

④販管費増減影響

9,111

-3,622

4,853

3,332

売上原価率

53.4%

↓

49.9%

(-3.5pt)

-4,474

販管費率

35.7%

↓

36.5%

(+0.8pt)

9,200

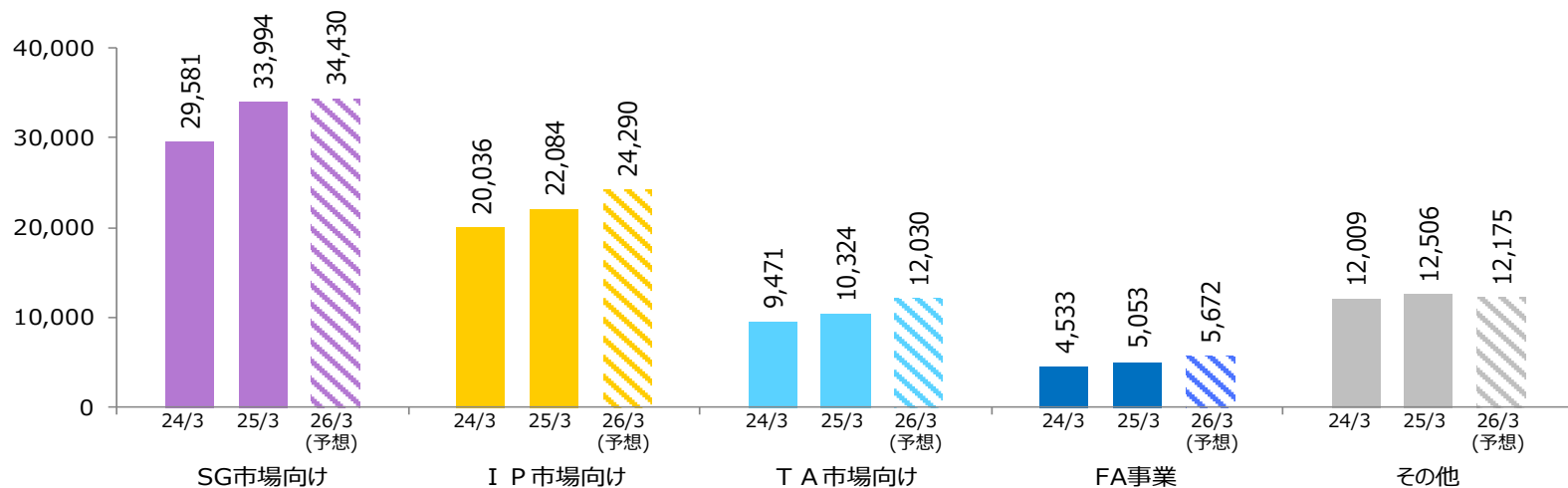
営業利益
(25/3期)

営業利益 +88百万円

営業利益
(26/3期)

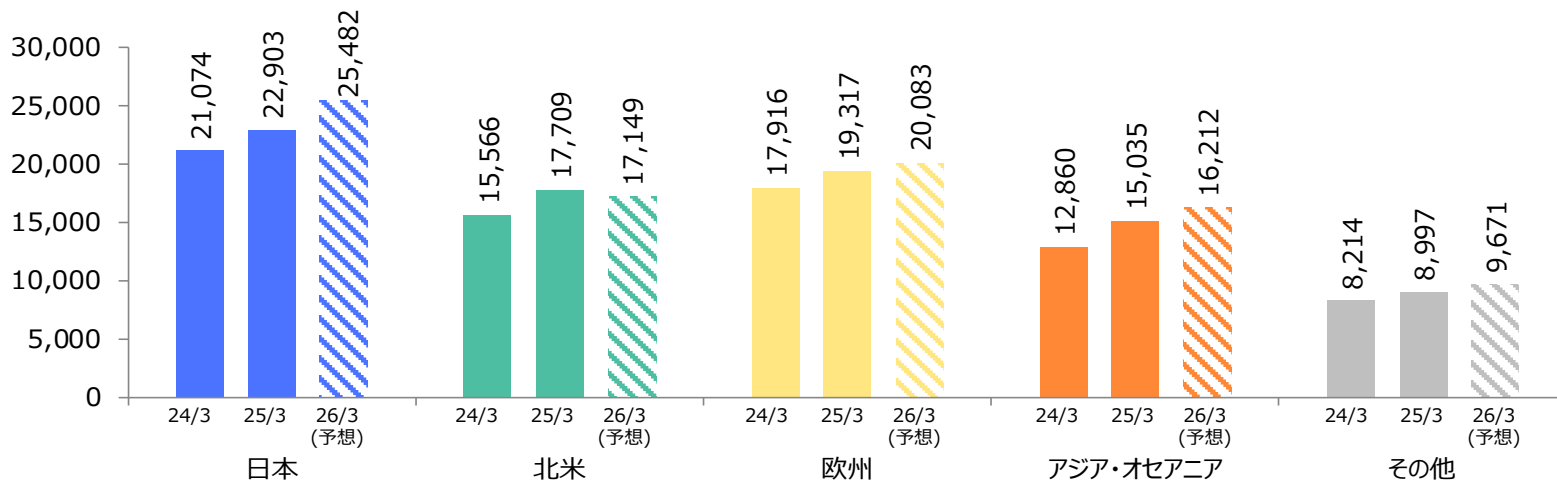
市場別売上高予想 (2026年3月期)

(単位：百万円)	2025年3月期		2026年3月期						
	通期実績	構成比率	上期予想	下期予想	通期予想	前期比増減			構成比率
						金額	率	率(除為替)	
■ S G 市場 向け	33,994	40.5%	16,211	18,219	34,430	+436	+1.3%	+9.6%	38.9%
■ I P 市場 向け	22,084	26.3%	11,458	12,832	24,290	+2,206	+10.0%	+16.3%	27.4%
■ T A 市場 向け	10,324	12.3%	5,610	6,419	12,030	+1,706	+16.5%	+26.7%	13.6%
■ F A 事 業	5,053	6.0%	2,007	3,664	5,672	+618	+12.2%	+12.2%	6.4%
■ そ の 他	12,506	14.9%	6,112	6,063	12,175	-331	-2.6%	—	13.7%
合 計	83,963	100.0%	41,400	47,200	88,600	+4,636	+5.5%	+12.4%	100.0%



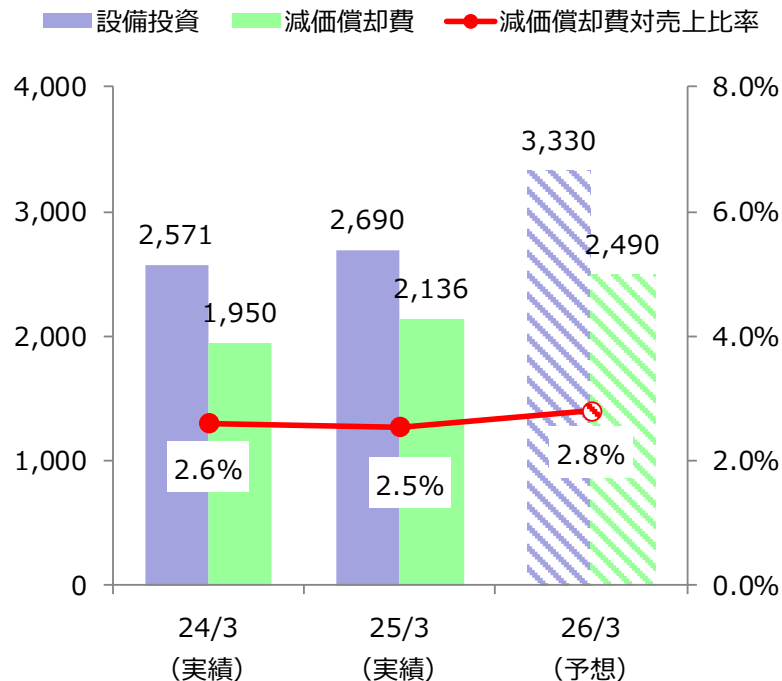
エリア別売上高予想 (2026年3月期)

(単位：百万円)		2025年3月期		2026年3月期					
		通期実績	構成比率	上期予想	下期予想	通期予想	前期比増減		構成比率
							金額	率	
■ 日	本	22,903	27.3%	11,524	13,957	25,482	+2,579	+11.3%	28.8%
■ 北	米	17,709	21.1%	8,092	9,056	17,149	-560	-3.2%	19.4%
	(現地通貨 / \$)	116.3M	-	59.9M	67.0M	127.0M	+10.6M	+9.2%	-
■ 欧	州	19,317	23.0%	9,404	10,678	20,083	+766	+4.0%	22.7%
	(現地通貨 / €)	118.0M	-	61.8M	70.2M	132.1M	+14.0M	+11.9%	-
■ アジア・オセアニア		15,035	17.9%	7,755	8,456	16,212	+1,176	+7.8%	18.3%
■ その他		8,997	10.7%	4,621	5,049	9,671	+673	+7.5%	10.9%
合	計	83,963	100.0%	41,400	47,200	88,600	+4,636	+5.5%	100.0%

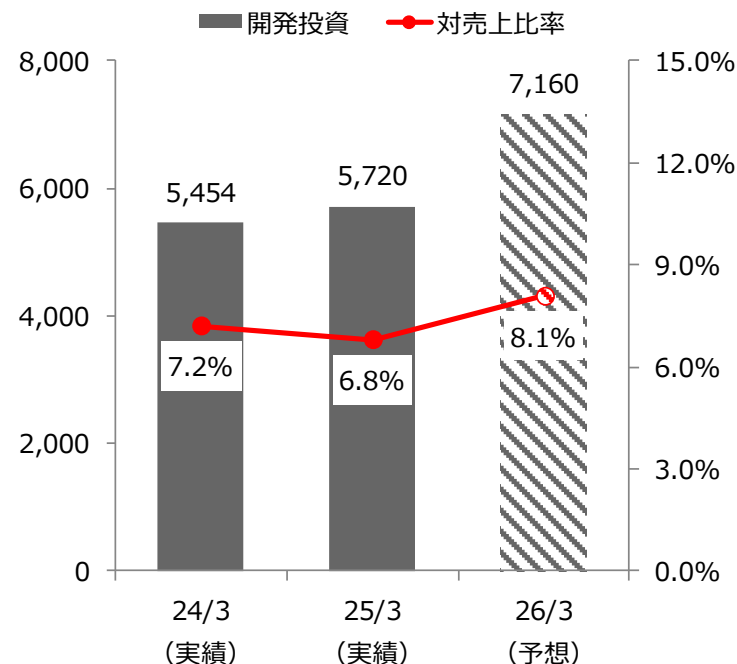


設備投資、減価償却、開発投資予想 (2026年3月期)

(百万円)



(百万円)



※ 上記の金額は、研究開発活動に係る費用の総額を示すもので、既存製品の改良、応用等に関する費用が含まれております。

株主還元

株主還元の方針

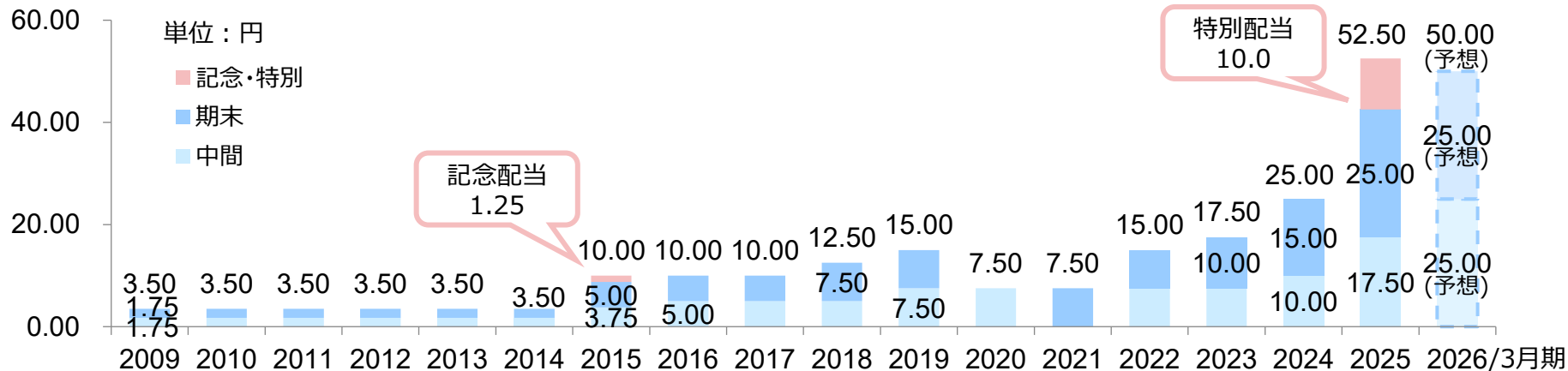
当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策と位置づけ、業績の成長に見合った成果の配分を安定的かつ継続的に行っていくことを基本方針としています

■ 2025年3月期(実績) 中間：17.5円、 期末：35.0円（内特別配当：10.0円）

業績及び今後の事業見通し並びに安定的・継続的な株主還元方針等を総合的に勘案し、特別配当を含めた年52.5円に増配

■ 2026年3月期(予想) 中間：25.0円、 期末：25.0円

今後の事業見通し並びに安定的・継続的な株主還元方針等を総合的に勘案し、年50.0円に増配を予想



※ 2015年3月期の記念配当は東証一部上場に係るものです

※ 2015年4月1日を効力発生日として1株につき2株の割合をもって株式分割を実施しています（分割前の配当金は遡及修正して表示）

本資料に関するお問合せ先

株式会社 **ミマキエンジニアリング**

I R 部

TEL (本社) 0268(80)0058

E-mail mimaki-ir@mimaki.com

〔本資料お取扱い上のご注意〕

本資料は、株式会社ミマキエンジニアリング（以下、当社）を理解いただくため、当社が作成したもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おください。